



糖尿病道場

vol.35 2019 冬号 北農会 恵み野病院 糖尿病・生活習慣病センター
糖尿病療養指導士会

近年注目の糖尿病治療薬 「トルリシティ皮下注アテオス」 について!!



どの様に体に効くの？

体の中にあるホルモンのGLP-1(インクレチン)と同じ働きをします。

GLP-1ってなあに？

GLP-1 は食事をとった時に小腸から分泌され、血液を通過して膵臓に運ばれ、インスリンの分泌を促します。

→血糖値を下げたり食欲を抑えたりします。

どんな患者さんに使うの？

膵臓からある程度インスリンが出ていることが条件で低血糖を回避し、血糖コントロールをしたい患者さん、できるだけ投与回数を減らしたい患者さんに使用します。

副作用はあるの？

① 胃腸症状

トルリシティの使い始めに吐き気、下痢、便秘などの胃腸症状が現れることがありますが、ほとんどが改善します。

② 低血糖

トルリシティのみの使用では少ないと言われていますが、他の血糖降下薬と併用した場合には出現する可能性があります。



使い方は？

あらかじめ針がセットされているので、注射のキャップをはずし、次に底面を注射する場所にあてて注入ボタンを押します。

週1回 時間は関係なく曜日だけを決めて投与します。

あてて押すだけ一週間